

山火事を起こさないために

胸上小学校

4年1組

井上陽人

昨年三月の夜、近所の山で、山火事がありました。その日の午後の4時ごろ、おいちんが山の方からけむりが立ちのぼっている、話をしていた。ぼくは、いつもの野焼きかな、と思っていた。

その後、午後6時位には、おはるを食べに金こし山を登って岡山市まで車で来ました。この道で山から赤い炎がたくさん出ているのを見ました。炎がメラメラしていて、少しだけこあかたです。

この炎は、後で山火事だと知りました。山火事の火が消えるまで20日ほどかかり、おきた面積は約565ヘクタール燃えて、死者はいなかたが、岡山県最大の火事になりました。火を消すまでに、消防車が自衛隊のヘリコプターなど、たくさん乗り物や、消防たし員や消防たんの方がたが、消火にあたっていました。ぼくは、お母さんと一緒に自衛隊のヘ

リコポターが大きなバケツで、池の水をくんで空から水をまいて火を消している所を見ました。消火するのにとても大変だなと思いました。とうじに、消防隊員や、自衛隊の人消防だんの方がたに、ありがとうございます。の気持ちでいっぱいです。山火事をおこすと、とても大変なと思いました。だから、山火事をおこさないようにする事が一番大事だと思っています。

ぼくが思う山火事をおこさないようにする方法は、火を使っている時は、火から、目をはなさない。それから消火するための物、たとえば水、すな、その他の消火できる物を用意しておく。また、一人では無く何人かの人で火を使ったり、少しおかしいと思ったりをよぶことが大事だと思います。山火事少しでもへらしたいです。